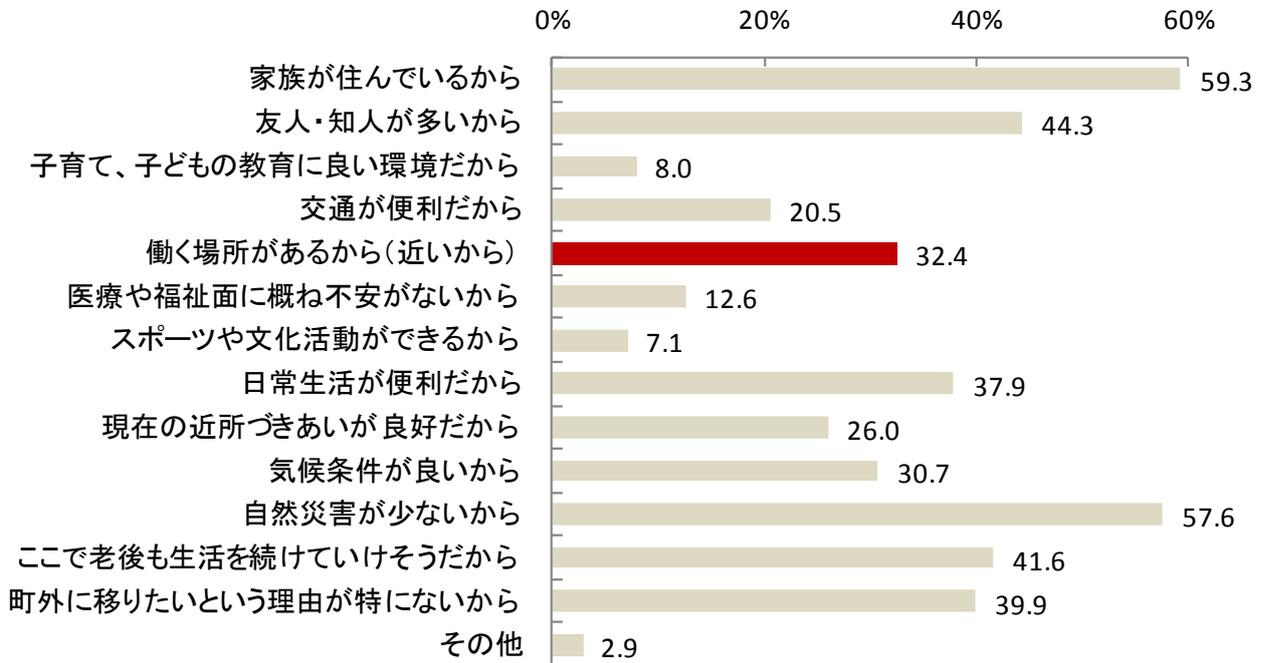


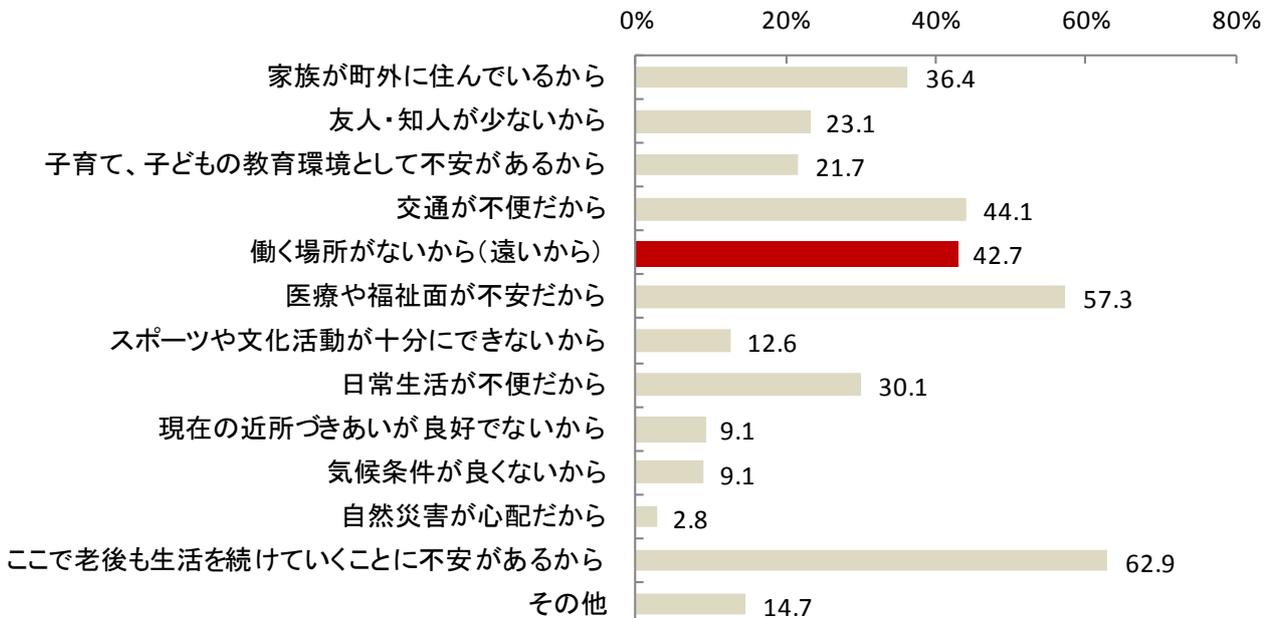
34 雇用促進、勤労者福祉

(1) 関連グラフなど

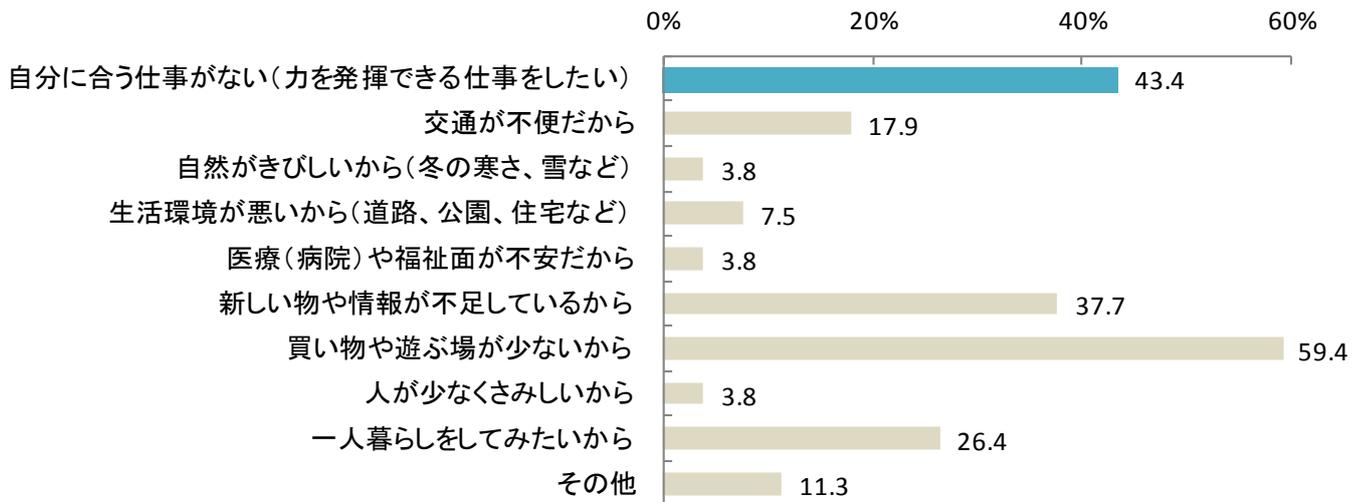
**町民** 【問4-①】町内に住み続けたい理由(すべて選択/589人)



**町民** 【問4-②】町外に移りたい理由(すべて選択/143人)



【問3-①】町外に住みたい理由(あてはまるものすべて選択)



(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
雇用、労働対策の推進	技術の取得支援による雇用の促進	美幌・津別地域季節労働者通年雇用促進支援協議会において、季節労働者の多様な技能取得を促し、通年雇用化へつねげるため、各種資格取得の支援を行う。	特になし	資格取得をすることにより通年雇用の可能性が増えることから継続して実施していきたい。
	地域雇用創造支援事業※の推進	中小企業庁の創業支援事業計画の認定にむけ準備中	特になし	計画策定に向け準備・策定を目指す。

※地域雇用創造支援事業：地域の雇用創造に自発的に取り組む市町村等の取組を促進・支援することを目的として、経費の一部を国が助成する取り組み。

(3) 意見、提案

☺ : 小学生   ● : 中学生   ⊗ : 育児ママ   卍 : 自衛隊   ※ : 高齢者   ● : 町民   ○ : 職員

⊗ ハローワークに子どもを連れて行きづらい。「マザーズハローワーク・マザーズコーナー※」もあるのですが、そのような環境にならないか。

※マザーズハローワーク・マザーズコーナー：子育てをしながら就職を希望している方に対して、キッズコーナーの設置など子ども連れで来所しやすい環境を整備し、予約による担当者制の職業相談、地方公共団体等との連携による保育所等の情報提供、仕事と子育ての両立がしやすい求人情報の提供など、総合的かつ一貫した就職支援を行っている。(厚生労働省 HP より) 道内には 12 か所。

- 北見市と網走市の谷間で、買い物をするにも隣町に引き寄せられる。美幌に本社がある企業を積極的に支援し、働く場所、生きがいを地元で満足できる様な、民間の活発な経済活動を後押しできる様な施策を講じるべきである。(男性・60代)
- 送迎付きの働く場所を増やしてほしい。(女性・40代)
- 働く場所がない。パートが多く正社員が少ないため、北見、網走に出て行く。(男性・50代)
- 積極的に雇用の場を整えるために、町として特に情報面で支援を強めてほしい。(男性・60代)
- 若者の働く場所がほしい。(女性・60代)
- まずは、働く場所を多くつくる事が大切だと思う。働く所が増えれば、美幌町に住む人も多くなり、街もうるおうと思う。(男性・30代)
- 生活環境も重要ですが、それ以上に働く場所、働ける場所の確保が最も重要だと思います。(男性・50代)
- 若い人の職場がふえて、学校を卒業した子供達が地元で働ける様になったら…。企業誘致、特産品の開発。私は、おみやげは美幌のものを送るようにしています。(女性・60代)
- 中学生や高校生の様に、インターンシップの様な事が大人にもあれば嬉しい。ヘルパーなどの資格を持った主婦はたくさんいるが、子供が小さかったりと、すぐに仕事につけないまま年数が過ぎてしまい、違った仕事をしている人も多い。研修などがあれば良いと思う。美幌も老人が多いので。(女性・40代)
- 働く機会をもっと増やしていただけないだろうか。(男性・30代)
- 子育て世代の主婦が働ける雇用環境整備(現状の美幌の求人は、土日勤務の職場が多いが、主婦の希望は、平日午前中勤務で土日休み。賃金単価も最低賃金レベルの求人が多い。)
- 多少高額でも食の安全に対する需要が見込めるので、美幌町の特徴である 1 次産業を活かし生産・加工・販売の 6 次産業化を目指す。